

The SHURE logo is displayed in a bold, italicized, black font within a black rectangular box that has rounded corners and a slight shadow effect.

# SBC240

## 2ベイネットワーク型充電器

Complete user guide for the SBC240 2-bay networked charger, which can charge ADX1, ADX2, and ADX2FD transmitters, or SB910 and SB920 batteries.

Version: 2.2 (2021-E)

# Table of Contents

<b>SBC240 2ベイネットワーク型充電器</b>	<b>3</b>	<b>保管モード</b>	<b>10</b>
<b>安全のための重要注意事項</b>	<b>3</b>	<b>出荷時の設定に戻します</b>	<b>10</b>
警告	4	<b>ShureデバイスをWireless Workbenchに接続する</b>	<b>10</b>
<b>概要</b>	<b>4</b>	構成のヒント	11
特長	5	<b>Wireless Workbenchを接続して電池を監視する</b>	<b>11</b>
<b>付属品</b>	<b>5</b>	<b>充電器のネットワーク設定</b>	<b>12</b>
<b>操作部と接続</b>	<b>5</b>	<b>外部コントロールシステムに接続する</b>	<b>12</b>
<b>電源</b>	<b>6</b>	<b>縦方向の取り付け</b>	<b>12</b>
<b>省電力モード</b>	<b>7</b>	<b>仕様</b>	<b>12</b>
<b>充電器の増設</b>	<b>7</b>	<b>認証</b>	<b>13</b>
<b>充電中</b>	<b>8</b>	Information to the user	14

# SBC240

## 2ベイネットワーク型充電器

### 安全のための重要注意事項







1. この説明書をお読みください。
2. この説明書を保管しておいてください。
3. 警告事項すべてに留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除は乾いた布でから拭きするだけにしてください。
7. 通風口を塞がないようにしてください。十分な換気ができるよう余裕を持たせ、メーカーの指示に従って設置してください。
8. 火、ラジエーターや暖房送風口、ストーブ、その他、熱を発生する機器 (アンプなど) の近くには設置しないでください。火が出る物を製品の上に置かないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全のために用いられていますので、正しく接続してください。有極プラグは、2本のブレードのうち一方が幅広になっています。アース付きプラグは2本のブレードの他に、3本目のアース端子がついています。幅広のブレードや3本目の棒は、安全のためのものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、コンセントを交換してもらってください。
10. 電源コードは特にプラグ差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、引っかかって抜けたり挟まれたりしないように保護してください。
11. アタッチメントや付属品は必ずメーカー指定のものをご利用ください。
12. カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等はメーカー指定のものか、この装置用に販売されているものを必ずご利用ください。カートに装置を載せて動かす際はつかけて怪我をしないよう注意してください。



13. 雷を伴う嵐の際、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場合、装置が雨や湿気に曝された場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態で損傷した場合は、整備が必要です。
15. 水滴や水しぶきに曝さないでください。液体の入った花瓶などを装置の上に置かないでください。
16. MAINSプラグまたはアプライアンスカップラーが使用できる状態にしておいてください。
17. 装置の空気伝播音は70 dB (A) を超えません。
18. クラスI構造の装置は保護接地接続のある主電源の壁コンセントに接続してください。
19. 火災や感電の危険を避けるため、本機器は雨や湿気のある場所にさらさないでください。
20. 本製品の改造は試みしないでください。けがや製品の故障の原因となる可能性があります。
21. 本製品は指定された動作温度範囲内で使用してください。

#### シンボルの説明

	注意：感電のおそれ
	注意：危険のおそれ (注意書き参照)

	直流
	交流
	オン (供給)
	二重絶縁または強化絶縁により常に保護されている機器
	スタンバイ
	機器は通常の廃棄物の流れにより廃棄されてはなりません。

**警告:** この装置内には、生命の危険を伴う高電圧が存在します。ユーザーは内部の部品を保守できません。保守の際は、資格のある保守担当者に必ずご相談ください。使用電圧の工場出荷時設定が変更された場合は、安全保証は適用されません。

## 警告

- バッテリーパックは爆発、または有毒な物質を放出する場合があります。火災または火傷の恐れがあります。開けたり、押し潰したり、改造したり、分解したり、60°C以上の熱に曝したり、焼却したりしないでください。
- メーカーの指示に従ってください。
- Shure充電座はShure充電式バッテリーの充電のみに使用してください
- 警告：電池が間違っ交換された場合、爆発する恐れがあります。同じ種類または同等の種類と交換してください。
- 決して口の中に電池を入れないでください。飲み込んだ場合は医師または最寄りの中毒事故管理センターまで連絡してください。
- ショートさせないでください。火傷または火災の原因となります。
- Shure充電式バッテリー以外のバッテリーパックを充電、または使用しないでください。
- バッテリーパックは正しく処分してください。使用済みバッテリーパックの適切な廃棄方法については、各地域の販売店にお問い合わせください。
- 電池（電池パックまたは内蔵電池）は直射日光、火などの高熱に曝さないでください。
- 電池は、水、飲料、その他の液体に浸さないでください。
- プラスとマイナスを逆にして電池を取り付けたり挿入したりしないでください。
- 小さい子供の手の届かないところに保管してください。
- 異常な電池は使用しないでください。
- 輸送の際には電池をしっかりと梱包してください。

**注意:** 電池を入れたまま充電器を輸送しないで下さい。

**警告:** 適切な換気の行われていない閉鎖空間では電池を充電しないで下さい。

電池、パッケージ、電子廃棄物については地域のリサイクル方法に従ってください。

**注:** モデル情報および出力定格はユニット底面のラベルに記載されています

## 概要

SBC240ネットワーク型ドッキング充電器は、2個のSB910またはSB920充電電池（どのような組み合わせも可能）あるいはADX1、ADX2、またはADX2FD送信機の充電にも対応し、コンパクトな充電と保管のソリューションを提供します。本充電器はネットワーク接続に対応し、Shure Wireless Workbench<sup>®</sup> ソフトウェアを使用することで、充電器およびバッテリーパラメーターの遠隔監視が可能です。4台までのSBC240充電器を連結接続することで、電源やネットワーク接続を共有することができます。

## 特長

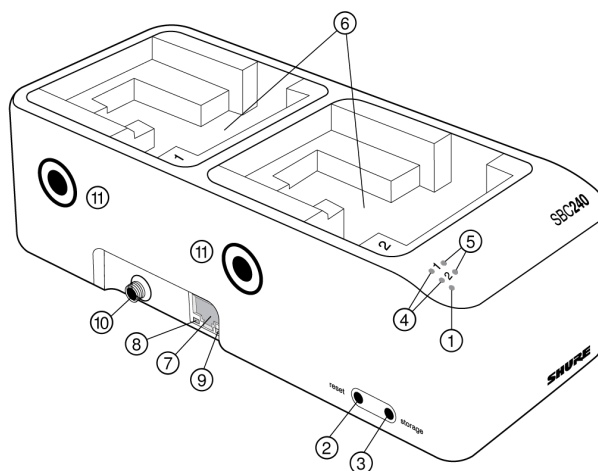
- 2個までのSB910/SB920充電電池(どのような組み合わせも可能)、またはADX1、ADX2、またはADX2FD送信機の充電が可能
- 4台までの充電器を連結接続して電源やネットワーク接続を共有し、配線やスペースを節約
- 充電ステータスと充電電池エラー検知をLEDで表示
- 長期保管時に充電電池を最適化する保管モード
- ネットワーク対応により遠隔監視が可能

## 付属品

ACアダプター	PS60
アレンレンチ	95A28936
ネジ	30B28875

注: 市販されているモデルは地域により異なります。詳細はお近くのShure代理店または小売店にお問い合わせください。

## 操作部と接続



### ① 電源LED

- 白 = 電源がオンです。
- 赤 = 充電器は保管モードです。

### ② リセットボタン

長押しすると、ネットワーク設定を含む工場出荷時設定に戻します。

### ③ 保管モードボタン

長押しすると、保管モードが有効になり、長期保管時に最適な電圧になるまで電池を充電、または放電します。

#### ④ 充電ステータスLED

- 赤 = 充電中
- 緑 = 充電完了
- オレンジ = 電池は保管モードです

#### ⑤ エラー検知LED

オレンジ色で点滅し、充電で問題が発生したことを示します。エラーは接続されているWireless Workbench上にも表示されます。詳細については「LEDインジケータ」を参照してください。

#### ⑥ 充電器スロット

2個までのSB910/SB920充電電池(どのような組み合わせも可能)、またはADX1、ADX2、またはADX2FD送信機を充電

#### ⑦ イーサネットポート

ネットワークに接続すれば、Wireless Workbenchを使用して充電電池ステータスを遠隔監視したり、充電器の設定を制御することができます。

#### ⑧ イーサネットリンクスピードLED (オレンジ)

- 消灯 = 10 Mbps
- 点灯 = 100 Mbps

#### ⑨ イーサネットステータスLED (緑)

- 消灯 = ネットワークリンクがありません
- 点灯 = ネットワークリンクが確立しています
- 点滅 = ネットワークリンクが動作中です

#### ⑩ 電源入力

ACアダプターを接続します。

#### ⑪ 充電コネクタ

同梱のネジと六角レンチを使用し充電器を連結させると、4台までの充電器を1つの電源から供給可能です。

## 電源

1. DC電源ケーブルを入力ジャックに接続します。指でロックナットを締めて固定します。
2. AC電源コンセントに接続します。

#### 警告:

- ロックナットを締めるのにプライヤー等の工具は使わないでください。DC電源ケーブルは充電器ユニットを据え付ける前に取り付けてください。
- DCケーブルを充電器につなぐ前に、ACアダプターを電源に接続しないでください。
- 充電器の準備が完了した後で、電源ケーブルを正しくアース接続されたコンセントに接続して下さい。

充電器には電源スイッチがありません。電源に接続すると、白色の電源LEDが点灯します。電池を挿入すると、充電LEDが点灯します。

## 省電力モード

充電器のネットワーク機能をオフにしてバッテリーを充電するには、省電力モードを使用します。

1. AC電源コンセントから電源ケーブルを外します。
2. AC電源コンセントに再接続している間にstorageを押し続けます。
3. 充電ステータスLEDとエラー検知LEDがオレンジ色に点滅したら、ボタンを離し充電器は省電力モードになります。

充電器の電源を切るまで、充電器は省電力モードを保持します。

**注：**電源スイッチをONの位置にしてドッキングされている送信機は、完全に充電されると電源がオンになります。不要な音声の出力と不要な電力の消費を避けるため、充電する前にすべての送信機の電源スイッチの位置がOFFになっていることを確認してください。

## 充電器の増設

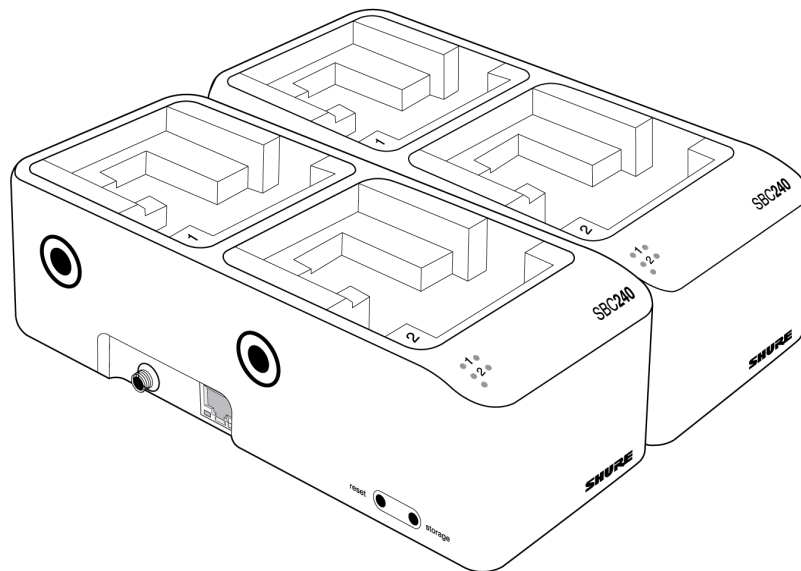
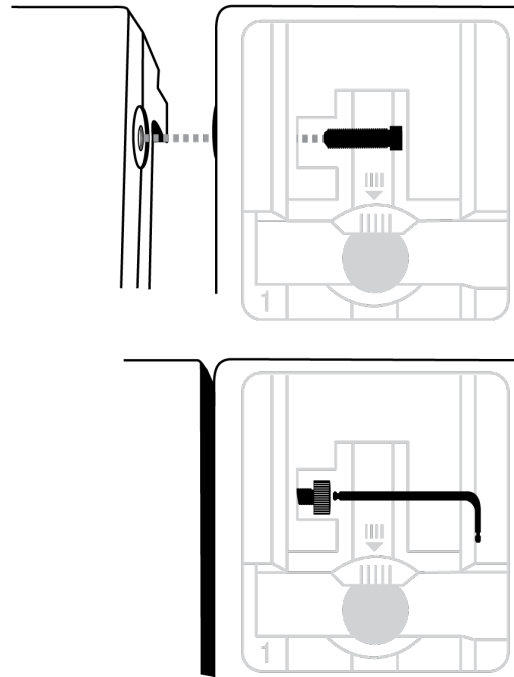
1台のACアダプターとイーサネット接続を最大4台の充電器で共有することで、省スペース化と配線の整理が可能となります。

1. 電源から充電器を外します。
2. 充電器の連結コネクタにネジを挿入します。
3. ユニットの位置を揃え、付属の六角レンチを使用しネジを締めて固定します。

**重要：**ネジは締めすぎないようにしてください。

4. 上記の手順を繰り返して、最大4台の充電器を連結します。
5. DC電源ケーブルとイーサネットケーブルを充電器の側面から接続します。

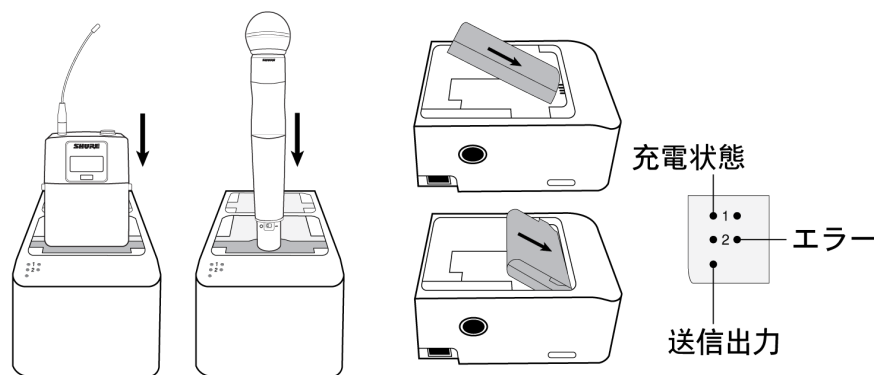
**注：**SBC240充電器のみを最大4台まで、電源およびネットワーク接続を連結して共有できます。他の充電器は使用しないでください。



## 充電中

図示に従って、充電電池または送信機を充電ベイに挿し込み、充電してください。LEDが点灯してバッテリーステータスを表示します。





**警告:** 単三電池を使用中の送信機を挿入しないで下さい。

## LEDインジケータ

色	状態
充電ステータスLED 赤	充電中
ネットワークステータスLED (緑色)	充電完了
エラー検知LEDがオレンジ色に点滅	<p>充電を停止しました。充電を再開するには、以下の解決策をお試しください：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電池接点に汚れや損傷がないかチェックします。接点が汚れているか、損傷がある場合、充電器が電池を検出しない恐れがあります。</li> <li>2. 温度を確認してください。電池の温度が60°Cを超えているか、0°C未満の場合、エラー検知LEDが点滅します。</li> <li>3. Shure保守・修理部門までご連絡ください。電池が回復不可能な状態まで放電したか、内部に障害が発生した可能性があります。</li> </ol>
4台の充電器のエラー検知LEDがオレンジ色に点灯したまま 5台目の充電器のエラー検知LEDがオレンジ色に点滅	接続されている充電器が多すぎます（4台を超えています）。制限を超過している充電器を取り外してください。
充電ステータスLED 赤 エラー検知LEDがオレンジ色に点滅	電池の温度が高すぎます。充電は全容量の80%で停止します。フル充電にするには、電池の温度が45°C未満に下がるのを待って充電を再開します。
ネットワークステータスLED (緑色) エラー検知LEDがオレンジ色に点滅	充電は完了したが、電池の温度が高すぎるか低すぎます(0°C以下または60°C以上)。
電源LEDが赤く点滅している	充電器は保管モードです。電池は保管用の電圧まで充電中または放電中です。
電源LEDが赤く点滅している	充電電池の保管準備が完了しました。

色	状態
充電ステータスLED (オレンジ色)	
電源LEDが赤く点滅している 充電ステータスLEDが赤く点滅している	充電電池が保管用電圧に近づいています。
電源LEDが白く点滅	充電器のファームウェアを更新中です。
すべてのLEDが点滅	ハードウェア識別用

ヒント: Wireless Workbench を使用すると、バッテリーステータスについての情報をより詳しく提供します。

## 保管モード

電池を8日間を超えて保管するには、充電器を使用して電池を保管モードにしてください。長期保管に最適な3.8ボルトまで電池の充電または放電が行われます。

保管モードにするには storage ボタンを3秒間以上、電源LEDが赤く点灯するまで押し続けます。電池は充電を開始するか3.8ボルトになるまで放電を行います。これは数時間を要することがあります。LEDは電池が保管電圧に近づいているか、または保管電圧に到達していることを表示します。

保管モードを終了するには、storageボタンを長押しします。電源LEDが白色に変わり、通常の充電が再開されます。

電池の保管準備が整ったら、充電器から電池を取り外し、温度が管理された場所で保管します。推奨される電池保管温度は10°C (50°F) ~ 25°C (77°F) です。

注:保管用電圧を維持するために、6ヶ月に1度、保管モードを使用して下さい。

## 出荷時の設定に戻します

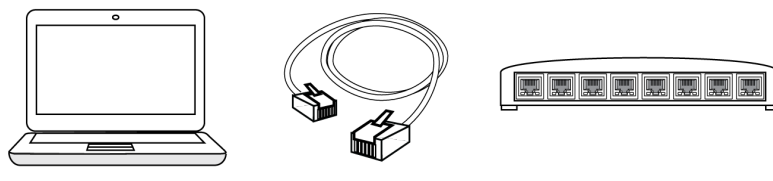
工場出荷時設定を復元するには、resetボタン長押しします。すべてのLEDが点滅し、充電器が再起動すると消灯します。

IPアドレスは自動モードにリセットされます。充電器は充電モードにリセットされます。

## ShureデバイスをWireless Workbenchに接続する

Wireless Workbenchでは、ネットワーク上のデバイスコントロールと監視が可能です。使い始めるには、<http://www.shure.com/wwb>にアクセスし、Wireless Workbenchソフトウェアをダウンロードします。Wireless Workbenchは、標準的なイーサネットネットワークを介して、接続されたデバイスをコントロールします。

**必要な機器:** Shureデバイス、Wireless Workbenchがインストールされたコンピュータ、Cat 5以上のイーサネットケーブル、およびルーターまたはネットワークスイッチ



1. 安定したネットワークパフォーマンスを確保するため、デバイスをコンピュータに接続する際にはシールド付きCat 5以上のイーサネットケーブルを使用します。管理するデバイスが複数ある場合、各デバイスをルーターまたはネットワークスイッチに接続します。各デバイスのイーサネットポートLEDが点灯し、ネットワークが接続されたことを確認します。またフロントパネル（場所は異なることがあります）にあるネットワーク接続アイコンの表示を確認して、ネットワーク接続が確立されていることを確認してください。
2. 多くのアプリケーションでは、自動モード（デフォルト）を使用して、スイッチまたはルーターのDHCP設定よりIPアドレスを指定します。DHCPサーバーがない場合、デバイスは169.254.xxx.xxx範囲のリンクローカルアドレスに戻ります。特定のIPアドレスを割り当てる必要がある場合は、NetworkメニューでIPモードをマニュアルに設定します。
3. Wireless Workbenchソフトウェアを開きます。
4. ポップアップウィンドウでネットワークインターフェースを選択します。接続しているイーサネットポートのIPアドレスを確認して、適切な接続先を選択してください。
5. 接続に成功すると、デバイスがInventoryタブに表示されます。

## 構成のヒント

- ファイアウォール設定をチェックして、Wireless Workbenchがネットワークにアクセスできることを確認します。
- 大規模な設置の際は、複数のイーサネットスイッチを使用してネットワークを拡張します

詳しくはWireless Workbenchのヘルプメニューまたは<http://www.shure.com/wwb>をご覧ください。

## Wireless Workbenchを接続して電池を監視する

Wireless Workbenchに接続すれば、充電器に接続されている電池に関する詳細な情報を確認できます。電池のエラー検知表示や、充電器のネットワーク設定の変更も可能です。

Wireless Workbenchのインベントリータブをクリックすると、ネットワーク接続された充電器が表示されます。充電器プロパティパネルには、電池の様々な統計情報が表示されます：

### Charge (充電量)

電池の容量に対する割合として充電量を表示します。充電完了までの時間も表示します。

### Health (ヘルス)

選択した電池の状態を、新品時の充電容量に対する割合で表示します。充電容量（フル充電を行った場合の持続時間）は、充電を行ったサイクル数、経過年数、保管条件によって減少していきます。

### Cycle (サイクル)

電池の完全な充電と放電を1サイクルとして、その総カウントを表示します。半分放電した後でフル充電した場合は1/2サイクルとしてカウントされます。1/4放電した後でのフル充電は1/4サイクルとしてカウントされます。

### Temperature (温度)

電池温度を表示します。（摂氏および華氏）

## 充電器のネットワーク設定

充電器のネットワーク設定を調整するには、Wireless Workbenchから充電器プロパティパネルを開きます。歯車アイコンをクリックし、IPモードとIPアドレスを編集できます。またMACアドレスおよびファームウェアバージョンを表示します。



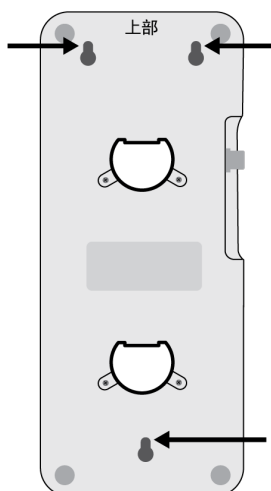
## 外部コントロールシステムに接続する

SBC240ネットワーク型充電器は、イーサネット経由でAMXまたはCrestronなどの外部コントロールシステムに接続します。コマンド列の包括的リストについては、[visit the product page at https://www.shure.com](https://www.shure.com)。

- 接続：イーサネット（TCP/IP、SBC240はクライアントです）
- ポート：2202

## 縦方向の取り付け

充電器の下部にある3つの取付ポイントは、#6丸ネジやナベネジにフィットします。充電器を固定できる長さの3本のネジを使用し、固い表面に取り付けます。取り付けるには、図のように、2つの取付ポイントが上部にくるように充電器を向けてください。



**警告:** 充電器を縦方向に取り付ける場合、SB910またはSB920充電池のみを充電器で充電してください。送信機は充電しないでください。

# 仕様

SBC240

## 互換性のある電池

最大 2 SB910 または SB920

## 互換性のある送信機

最大 2 ADX1, ADX2, または ADX2FD

## 充電電流

1.25 A 最大

## 充電時間

1 時間 = 50% 充電済み; 3 時間 = 100% 充電済み

## 外部電源

PS60

## 使用電源

15 V, 3.33 A 最大

## 外装

成形プラスチック

## 寸法

65.25 x 88.74 x 210.82 mm (2.57 x 3.49 x 8.30 インチ) 高さ×幅×奥行き

## 質量

0.45 kg (1 lb) 電池除く

## 動作温度範囲

-18°C (0°F) ~ 50°C (122°F)

## 保管温度範囲

-29°C (-20°F) ~ 74°C (165°F)

## ネットワークインターフェース

10/100 Mbpsイーサネット

## ネットワークアドレス容量

DHCPまたはマニュアルIPアドレス

---

# 認証

該当するすべての欧州指令の必須要件を満たします。

CEマーク許可を取得。

CE適合宣言書は以下より入手可能です：[www.shure.com/europe/compliance](http://www.shure.com/europe/compliance)

ヨーロッパ認定代理店：

Shure Europe GmbH

Global Compliance

Jakob-Dieffenbacher-Str.12

75031 Eppingen, Germany

TEL：+49-7262-92 49 0

Eメール：info@shure.de

[www.shure.com](http://www.shure.com)

本装置を運用する際は、次の2つの条件を満たして下さい：(1)装置は干渉を起こさない、そして(2)装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

FCCパート15Bの認証条項により認可。

CAN ICES-003 (B)/NMB-003(B)

## Information to the user

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

**Note:** This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

注: EMC適合性試験は同梱および推奨のケーブル使用に基づきます。別種のケーブルを使用した場合はEMC性能が低下する可能性があります。

Shure社によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、この機器を操作する権利が無効になります。

環境に配慮してください。電気製品および梱包材は地域のリサイクル処理の一部であり、通常のご家庭ゴミと一緒にしてはなりません。